

千早赤阪村における中世城郭の調査成果の啓発活動事業

一般社団法人 千早赤阪楠公史跡保存会

■活動内容

「千早赤阪村城郭調査活用委員会」による調査をもとにして

・「調査報告書」・「普及啓発用リーフレット・地図」の刊行

調査成果を刊行物にまとめて一般公開した。刊行物は専門的内容を含む刊行物と一般用啓発用刊行物とした。
また、ホームページ上でも公開している。

・「補足調査」の実施

2年間の調査をまとめるに当たっての必要な補足調査を実施した。

・「大阪お城フェス 2025」に参加

調査成果をもとに千早赤阪村、楠木正成、山城を広く広報した。(8月)

・千早赤阪村山城フェスタ 2025 の開催

調査成果を身近に理解してもらう為に地域の人達を巻き込んで開催した。

プレイベント 山城を知るための入門講座(10月3回)。

関西城郭サミット「講演会・シンポジウム、講談」・「山城マルシェ」地元の食材を使った「山城カレー」などの販売や地元物産を販売した。(11月8日)現地見学会(11月9日)(当日雨天のため中止)

・千早赤阪村立郷土資料館 「千早赤阪城跡群」特別展示

実施期間：2025年9月30日から同年12月28日 赤色立体地図タペストリー、パネル6枚の展示

■コンセプト・ねらい

「千早赤阪村城郭調査活用委員会」による調査をもとにして

①2か年にわたる調査により金剛山麓は日本の山城の発祥地であり、それも同時期の複数の城郭が面として広がる唯一の地域であることがわかった。今後の補足調査でその説を強固なものにする。

②調査成果を分かり易く会員だけでなく村民を含む地域の人達に還元し、保存活用を進めたい。それによって、地域活性化や当会の会員も含め地域の人たちのアイデンティティを高める一助にする。

■活動実績

■第4回大阪お城フェス参加

ブース名「千早赤阪城跡群」 来場者数 8月9日(土)3,585名 / 10日(日)3,802名 計7,387名

■千早赤阪村山城フェスタ 2025 の開催

①プレイベント

◇山城を知るための入門講座◇

・参加者数 10月10日(金)：13名、12日(日)：25名、17日(金)：13名

②関西城郭サミット 2025 in 千早赤阪

◇「南河内の戦乱と城郭」～調査報告会及びシンポジウム～◇

・参加者数 11月8日(土)：105名

③現地見学会

◇「不本見山～猫路山城跡～上赤阪城跡の見学会」◇

- ・雨天の為中止

④マルシェ

◇千早赤阪 山城マルシェ◇

- ・場 所：道の駅ちはやあかさか
- ・出展ブース：6 店舗
- ・来 客 数：約 100 名

■「千早赤阪村城郭調査活用委員会」の活動

①第 1 回全体会議：令和 7 年 5 月 2 日(金)13：40～

委 員：中井均委員、中西裕樹委員、尾谷雅彦委員、和泉大樹委員、伏井信之委員、森口芳樹委員
オブザーバー：森田遥氏、村上美幸氏 事務局：林秀治、多田順子

②第 2 回全体会議：令和 7 年 7 月 22 日(火)10：40～

委 員：中西裕樹委員、尾谷雅彦委員、和泉大樹委員、伏井信之委員、森口芳樹委員
オブザーバー：森田遥委員 事務局：林秀治、多田順子

③第 3 回全体会議：令和 8 年 3 月 12 日(木)

委 員：中井均委員、中西裕樹委員、尾谷雅彦委員、和泉大樹委員、伏井信之委員、森口芳樹委員、
オブザーバー：森田遥氏、村上美幸氏 事務局：林秀治、多田順子

■千早赤阪村立郷土資料館 「千早赤阪城跡群」特別展示

○実施期間：2025 年 9 月 30 日から 12 月 28 日

- ・赤色立体地図タペストリー、パネル 6 枚 の展示 ※期間中の資料館入館者数：637 名

■成果・効果

今年度も城郭調査の成果を活用しシンポジウムなどの公開事業を実施し、主催事業以外にも他団体主催のイベントに出展して多くの人たちの参加を得た。

1, 第 4 回大阪お城フェス参加 / 2, 「千早赤阪村城郭調査活用委員会」の活動

今年度は、調査成果報告書の刊行、今年度のシンポジウムの企画、来年度のシンポジウム開催企画提案、今後の千早赤阪村金剛山麓中世城郭群の活用提案（群としての国史跡指定、大学生の歴史教育への活用、村観光の活用など）などをおこなった。今年度で委員会は終わるが、引き続き委員の方々には、中世城郭研究者として楠公史跡保存会や千早赤阪村文化財行政に協力していただくことになった。

3, 「城郭サミット」の開催

プレイベントとして実施した入門講座は、調査に参加した大学院生が講師となり、その真摯な話しぶりが参加した地域の受講者から好評であった。シンポジウム当日は、村内のみならず村外からの参加者もあり、金剛山麓の中世城郭の歴史的重要性と千早赤阪村をアピールすることができた。また、同時開催したマルシェではコラボした山城カレーなど地元産品の物販も行われ好評を得た。見学会は、定員を超える申し込みがあったが、残念ながら雨天で中止をした。

2 か年の調査成果を学術的な報告書を出版し、全国的に知らしめることができた。

また、村内外の一般の人たちむけには、この成果を周知し、千早赤阪村及び金剛山麓の中世城郭を訪れてもらうために、成果をやさしく解説したパンフレットを作成した。

■今後の展開

本事業を今回で終わらせず、今後も城郭サミットを開催し、シンポジウム、古典芸能（今回は講談）、村内生産者とコラボした村内物産の物販など千早赤阪村の地域づくりの一環として展開してゆきたい。

さらに、定期的に成果を村民や愛好者と共有するための解説講座の開催、村民ボランティアの解説による見学会の実施や、その新たな探索ルートの開拓を進めてゆきたい。

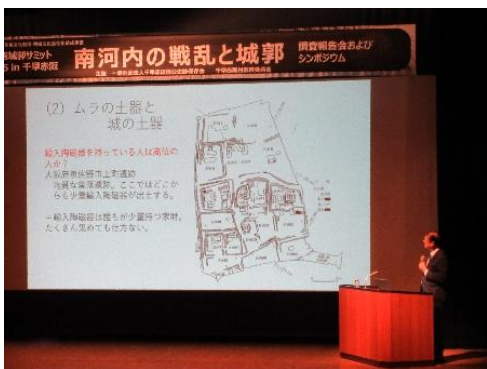
また、今年度で委員会は終わるが、引き続き委員の方々には、中世城郭研究者として楠公史跡保存会や千早赤阪村文化財行政に協力していただくことになった。そして、行政にも積極的な参加を促してゆきたい。

○千早赤阪村山城フェスタ 2025

●プレイベント「山城を知るための入門講座」



●関西城郭サミット 2025 in 千早赤阪



●講談「楠木正成の赤坂城奪還戦」

●山城マルシェ



○千早赤阪村立郷土資料館 「千早赤坂城跡群」 特別展示

